

インド株式市場は政府の2019年度予算案を好感(2019年2月)

2019年2月5日

お伝えしたいポイント

- 予算案には下院総選挙を意識した景気浮揚策が盛り込まれた
- 予算案発表後のインド株式市場は個人消費の拡大期待から上昇

<予算案には下院総選挙を意識した景気浮揚策が盛り込まれた>

2月1日(現地、以下同様)、インド政府は2019年度(2019年4月~2020年3月)の政府暫定予算案(以下、予算案)を発表しました。今年5月までに行われる下院総選挙で新政権が発足する可能性があるため、現時点では暫定とされています。

下院総選挙を控え、インド政府は有権者からの支持拡大を意識した政策を盛り込みました。特に有権者数が多い農家や中低所得者層に焦点をあてました。

一方、財政赤字の国内総生産に対する比率は2018年度が3.3%から3.4%へ引き上げられ、2019年度も3.4%と横ばいと、当初よりも赤字がやや拡大する計画です。ただし、2020年度は3.0%とする目標が堅持され、財政健全化の方向性が維持されました。

発表されたポジティブな政策の例

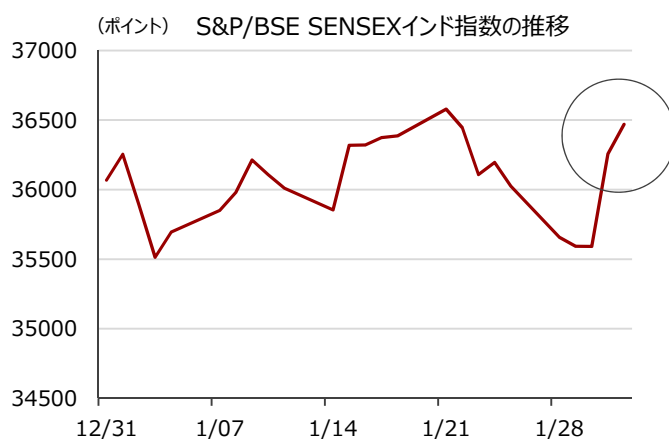
- 政府は、所有する農地面積が小規模の農家に対し、年間6千インド・ルピーの**収入補助**を行う。
- 現在年間所得が25万インド・ルピー以下の人は所得税率0%で、個人所得税は免除されているが、この**個人所得税免除対象となる基準所得**を50万インド・ルピーまで**引き上げる**。
- 低所得者層が多い非組織部門(従業員10人未満の小規模企業等)の就業者に対して**公的年金制度を導入**する。

<予算案発表後のインド株式市場は個人消費の拡大期待から上昇>

2月1日のインド株式市場は、予算案の発表を受けて、農家が受け取る収入補助や中所得者層の所得税負担の軽減などから可処分所得が増える見込みとなり、消費拡大への期待が膨らみました。日用品や二輪車メーカー等を中心とした銘柄の株価が上昇し、インドの主要株式指数であるS&P/BSE SENSEXインド指数は前日比0.6%上昇しました。

インド株式市場は年明け以降、原油市況の上昇を背景としたインフレ加速への懸念や、大手自動車メーカーの決算不振などを背景に、上値の重い展開が続いていました。今年5月までに行われる下院総選挙に向けて、今回の予算案で発表された政策をはじめとしたさまざまな景気浮揚策が打ち出される可能性があり、株価上昇の支援材料となることが期待されます。

年明け以降上値が重かったインド株式市場は上昇



2018年12月31日~2019年2月1日(日次、現地通貨ベース)
出所:ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

大和投資信託

Daiwa Asset Management

■当資料は、投資環境等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ
⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>